

## 平成 30 年度 第 1 回平戸市在宅医療介護連携会議 会議結果

1. 日 時：平成 30 年 8 月 9 日（木）午後 7 時 開会 午後 8 時 35 分 閉会
2. 場 所：平戸文化センター 会議室 C
3. 出席者：委員 14 名中、12 名出席
- 出 席：江口委員・木寺（一）委員・木寺（元）委員・永石委員・永野委員・原尾委員・針尾委員・百村委員・古荘委員・増山委員・松本委員・村山委員
- 欠 席：安部委員・福浦委員
- 事務局：長寿介護課 榊田課長・石田参事兼高齢者支援班長・藤井高齢者支援班係長・谷本主査・西保健師・中山在宅医療介護連携コーディネーター

### 4. 次第

- ①開会
- ②平戸市長寿介護課長あいさつ 長寿介護課長 榊田 俊介
- ③会長あいさつ 増山会長

### 5. 協議事項

#### （1）平成 29 年度在宅医療介護連携推進事業実施報告について

事務局	配布資料に基づき説明。
会長	ただいま事務局から説明があったが、この件について質問等あればお願いしたい。
〇〇委員	訂正であるが、病院調査票において「訪問診療可能な曜日・時間・診療科」に誤りがあり、毎週火曜日の午前・午後になっているため、変更をお願いしたい。
事務局	火～金曜日と記載されているところが、火曜日だけということか。
〇〇委員	火曜日の午前・午後ということになる。
〇〇委員	最後のページの訪問看護であるが、受入可能な対象者の欄で「難病」と「気管切開」が「×」となっているが、「○」で修正をお願いしたい。
会長	今、事務局から説明があった件について、一つ目が入院時情報提供シートの件であるが、こういう様式ができたので、ということで報告があった。それから、入院時情報提供シートの活用状況について、入退院支援実態調査の結果の報告があった。地域の医療・介護施設の把握調査結果についてということで報告があった。最初、入院時情報提供シートについて、見ていただいて、統一様式の件と利用状況の方と何か質問等ないか。
〇〇委員	統一様式を作るということで、ケアマネ会の方でも少し話しをしたということであったが、そのあたりで何か上がってきたことなど何かないか。
〇〇委員	昨年度、入院情報提供表統一様式を作るということで、ケアマネ会と市の方と協議を行い、情報提供書を作成した。一枚もので、使われている事業所としては 80% ということで、浸透ができたのではないかと考えている。しかし、平成 28 年度老健のモデル事業で全国のモデル的な様式というものが、現在、提示されている。それ

	<p>がA4版2枚もので情報量が多い。ケアマネジャーからの意見にもあったが、今後の入院時、入院してから退院するまでの方向性について、ケアマネジャーの考え方、そういう部分を取り入れたり、あとはADL・IADLなどの項目が多かったりと、少し追加・訂正するところがあるのではないかと考えている。今回、内服薬の記載欄が小さいという意見が出ているが、その点については、お薬手帳のコピーを別に添付したり、飲み方については内服が可能かどうかというところになっているが、家族の援助があれば可能かどうか、そういうところ、細かい生活状況などについて出てきているようなモデル様式がでているので、今後進めていければと思っている。</p>
<p>会長</p>	<p>その他、情報提供シートについてどうか。ケアマネ会とも確認していただき、様式の変更等もしていくと思われるため、情報をもらいながらやっていただければと思う。この件については、よろしいか。</p>
	<p>2つ目の入退院支援実態調査の集約結果について、いかがか。事務局の方から入院時の事前連絡がなかった例が15.9%、退院の際の支援がなかった場合が12.7%ということで、このあたりの数字が妥当かどうかというところが事務局の方から言われているが、このあたりについていかがか。</p>
<p>〇〇委員</p>	<p>統計であるため、1病院が提供していなかったらパーセントが下がってくるかと思うが、その病院というのは把握できているのか。</p>
<p>会長</p>	<p>ひとつの施設に偏っているなどの可能性はないのか、ということか。</p>
<p>〇〇委員</p>	<p>そういうことである。</p>
<p>事務局</p>	<p>そこの確認はしていない。しかしながら、行おうと思えば可能である。何ヶ所か市内には有床の病院等があるが、どこが行ってどこが行っていなかったのかということは、把握ができるかとは思いますが、そこの情報は持ち合わせていない。</p>
<p>〇〇委員</p>	<p>入院の事前連絡で思っていることは、いつの時点の連絡を指すのか。いつの時点のことを言っているのかが、分からない。</p>
<p>会長</p>	<p>入院時の事前連絡があった、ということでよいのか。</p>
<p>〇〇委員</p>	<p>どのタイミングのことを言っているのか分からなかったため、伺っている。</p>
<p>会長</p>	<p>入院の前に連絡があったのか、入院したその日に連絡があったのか。</p>
<p>〇〇委員</p>	<p>その日に具合が悪くなったその日に受診して、「では今日、今から入院しましょう」というのは、事前には言えないと思うため、15.9%を減らすということは難しいと思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>調査の中では入院前に連絡があったかどうかというところで行っているが、実際入院された日に連絡があったケースも入っている可能性もあるかと思う。</p>
<p>〇〇委員</p>	<p>入院したその日ということか。</p>
<p>事務局</p>	<p>その選別はしていない。</p>
<p>〇〇委員</p>	<p>そこを分けないと、この数値の意味はあまりないのではないか。その日に入院が決まった人と、例えば手術を予定している人の入院であった場合、全部一緒にするとあまりこの数字は意味がないかと思うが。</p>

会長	事務局の方から入院時の情報提供ということで説明があったかと思うので、救急のときとかも、救急搬送で入院して連絡があったのか、ちょっと分かりづらいなど、そのあたり入院前の連絡なのか、それとも入院後でもすぐに連絡がっているのか、情報収集を検討していただければと思う。最終的にきちんと連絡がっているのかどうか、ということである。その他はないか。本年度から入退院の支援加算などが点くようになったため、比較的スムーズに退院支援が行われているのではないかとと思われるが。
〇〇委員	おそらく先ほども入院時の連絡は、事前連絡というところだけではなく、入院当日、翌日含めての入院時の連絡があったかというところでケアマネジャー側としては回答しているのかと思っている。なかなか事前連絡、計画入院というものがそんなに件数もないように思うため、やはり〇〇委員が言われたように病院に来て先生の診察で入院になるという人が圧倒的にあり、ほぼそういう状況ではないかと思う。連絡としては、入院時の連絡があったかどうかという点で回答しているのではないか。
〇〇委員	入院した日と連絡した日が何日ぐらい離れていたのかを調べることも分かりやすいかと思う。
会長	これらについては、引き続き調査をお願いしたい。今、〇〇委員が言われたこと、入院して連絡があるまでどれぐらいかかっているのか、そのようなことを調査していただきたい。
〇〇委員	2 / 4 ページのところでも事前連絡があった場合の経路があるが、家族の方からが49.3%で半分ぐらい占めている。回答の仕方としては重複回答になっているのか。例えば、病院からもケアマネの方に電話があって、家族からも入院したということで連絡があったなど複数で、ケアマネの方に連絡がくるのが現場としてはイメージがつくが、入院機関からの連絡が非常に低いと感じたため、こういった回答の仕方であったのか。
事務局	ここは複数回答ではなく、回答に応じて積み重ねていった結果である。それで連絡がなかったケースが15%程度である。
〇〇委員	なかった方の理由というものは、分からないのか。家族構成や入院医療機関、そういったところも調査することで、0%に近づけることになるかもしれない。
会長	家族構成など、特に独居の方はなかなか連絡しづらい。そのあたりも調査していただきたい。
〇〇委員	先ほどの集約結果をみるなかで、事前連絡で家族があり、医療機関が約2～3割程度ある。家族などになると、ほぼ電話などの連絡である。入院情報提供書の活用という点では、ケアマネの方から入院したときに全員出すなどといったものではないのか。それを活用した結果ではないのか。この活用とは別物になるか。あくまで電話でもケアマネの方へ入院した、ということで連絡が来たという調査結果になるのか。
事務局	情報提供書を活用して何らかの入院支援があったかどうかというところについて

	<p>は尋ねておらず、何らかの媒体を用いてそういった連絡があったかどうかという感じで集約している。この調査自体が昨年度、保健所主催で〇〇県の保健所長が来られて医療介護連携の研修がなされた際、〇〇市に近いところを管轄する保健所であったため、どれぐらい連絡があっているのか、ないのかということについて調べたというところにヒントを得た。平戸に置き換えたときに、どれぐらいそういったことが見受けられるのかということで、調査を1ヶ月程度行ったという経緯がある。鹿児島の実例では2～3割程度は連絡がないという話があり、そういったところを踏まえ、連絡があるように何らかのルールづくりを行おうということになり、同じようなかたちで再度ルールづくり、支援づくりを行った後、調査をかけたところ、やはり減ったということであった。そういった部分への活用ができないかと思い、現状把握も兼ね調査を行った。今回もう少し掘り下げた部分での分析をという意見があったため、それらについては整理をしながら再度、調査ができるかどうか検討を行い、次回に結びつけることができればと感じている。</p>
会長	<p>何らかの媒体を使用し連絡ができてきているかどうかの確認をしていきたいということである。今回、こうやって入院情報提供書も完成しているため、使っていただき、またこのあたりの数値の変わり方をみていければと思う。調査方法等については検討をお願いしたいと思う。医療・介護資源の調査があるが、これはどれぐらいの間隔で更新は行うのか。</p>
事務局	<p>決めてはいないが、頻回に集約をかけるということもお互い作業が煩雑になるため、当面は1年に1回程度、そういうかたちになるのではないかと考えている。利活用する中でも必要な情報、そうでない情報ということも出てくるかと思われるため、まずはこういったものがあるということを使っていき、意見をいただきながら少しずつ精度を高めていきたいと思っている。</p>
会長	<p>1年に1回程度ぐらい修正等していただければ、新しい情報になっていくのではないかと思う。</p>
〇〇委員	<p>〇〇などは入っていないのか。</p>
事務局	<p>回答があったところのみ集約を行っている。</p>
〇〇委員	<p>訪問診療と往診は異なるが、記載内容は訪問診療ということでよいか。それから、訪問診療可能な曜日が出ているが、往診であれば希望があって昼夜問わず行っているが、訪問診療であればこの曜日となっているため、どうなのかと思って尋ねた。記載のとおり、訪問診療というかたちとして捉えている。</p>
事務局	<p>介護事業所の情報提供というものも参考例として付いているかと思うが、こちらは</p>
〇〇委員	<p>住民の方など、医療機関への情報提供としてはホームページに上げていくということか。</p>
事務局	<p>こちらの方もまだホームページには上げていないが、今後上げていこうかと思っている。介護事業所の分については、サンプルで幾つかつけている、というのが、かなりのボリュームがある。元々のデータについては、厚生労働省の介護関連事業所・生活関連情報検索の介護サービス情報公表システムというところからピックアップ</p>

会長	<p>プした情報を介護事業所に投げ、チェックしたものを返してもらっているという状況である。その部分についても今からホームページの方へ上げていくことになるかと思う。</p> <p>これからホームページに上げていくということである。もう一度、これで掲載していいのかということを各事業所等に返すという予定はないのか。</p>
事務局	<p>調査を回答していただくということではなく、あるデータを確認していただいて返していただいたということであるため、その分を再度返して確認してもらうことはすべきかどうか。情報提供いただいたところについては、こういったかたちで掲載するという事でお知らせするなかで、自身の医療機関・介護事業所等の情報を見ていただき、内容が適当でないというところがあれば、連絡をいただき、適宜、修正できるのではないかと思う。</p>
会長	<p>そのあたり修正できるような体制を作っておけばいいのではないかと思う。</p>

(2) 第7期介護保険事業計画及び高齢者福祉計画における在宅医療介護連携推進事業について

事務局	<p>配布資料に基づき説明。</p>
会長	<p>これまで医療・介護に関する相談は、何かあったのか。窓口を設置するという事であるが、これまでも何か相談があったのかどうか。それに近いかたちでもよいが。</p>
事務局	<p>多くはないが、これまでにあった事例としては、例えば福岡県の病院に入院されていた方が退院を希望されていて、退院日が決まったら包括支援センターに連絡があったというケースがあった。その方が〇〇出身の方で〇〇に帰ってきたいということで、訪問看護ができる医療機関があるのかどうか、〇〇で受けられるサービスはどのようなものがあるのかなど、そういった問合せがあったため情報提供を行った。</p>
〇〇委員	<p>医療介護連携に関する相談窓口ということであるが、具体的にはどのようなかたちの相談を想定しているのか。私たちはどのような状況を相談するのか、ということをお願いしたい。</p>
事務局	<p>国が想定していることは、医療機関と介護関係者の連絡調整や情報提供などを想定していると思われるが、平戸市内の医療機関や事業所の方は、大体市内の状況は知っていることが多いかと思う。分からないところがあれば、またはどのようなサービスを受けることができるのかといった相談を受け付けたりなどできるのではないかと考えている。また、市外や県外から平戸に患者さんを帰すときに相談されるケースが多いと思っている。</p>
会長	<p>これまでの包括支援センターで担っていた相談を、窓口をきっちり整理するので明確化するということによいか。その中で広報はどういったかたちで行っていくのか。</p>
事務局	<p>本年度4月に配置したという状況であるが、まだ広報周知等、市民向け、医療機関向けには十分にはしていないため、今後行っていきたい。</p>

会長	そのあたり、相談窓口として、またコーディネーターとして1名配置するという ことで周知の方を検討してもらえればと思う。
〇〇委員	例えば病院の方からこういう事例があるので相談したいことがあるとなった場合、 経過等を知る手段というか、紹介というか、関わってもらうようお願いしたが、 その後どうなったのかということについては、記録が少し知りたいなど、特に医師 からあの件はどうなったのか、などと聞かれることがあるため、そういった場合は こちらから連絡をして確認しないと分からないであるが、その場合、連絡しなく てもこういったことになったということで情報が入ってくる、というようなことには ならないのか。
事務局	質問いただいた内容としては、医療機関から包括支援センターに関わって欲しいと いうケースの情報提供をしていただいた後にフィードバックが行われず、経過を知 りたいときはどうすればよいか、ということか。こちらからきっちり情報を返す ということをしていなければいけない事例ではなかったのかと、思っている。相談を 受けた分はきちんと情報提供を返すように努めていきたいと思っている。基本的 には問合せいただければと思う。

### (3) 連携中枢都市圏形成に関する経過報告及び県地域包括ケアシステム加速化事業について

事務局	配布資料に基づき説明。
会長	意見等、特になし

### (4) 平成30年度在宅医療介護連携推進事業について

事務局	配布資料に基づき説明。
〇〇委員	第1回の懇話会の「お互いを知りましょう」とあるが、先ほど説明があった医療機 関側とケアマネが連携をしていこうということであるが、「お互いをしりましょう」 の中のサブタイトルは何か考えているのか。これについて何か連携を強化するなど あるか。
事務局	まずはどの方がどれぐらい顔を知られているのか、関係性があるのか、ないのかと いうところからが入口かと思っている。皆さんがそれぞれの医療機関・介護事業所 に所属する中で、連携としてももう少しこうであればいいのに、と思うところもあ ろうかと思う。そういったところをざっくりばらんに話していただき、その場で解決を するというよりかは、こういったところが問題ではないかという情報共有を行いなが ら、なおかつ入院時情報提供シートや入退院時の漏れ率などは基礎的な資料とし て持ち合わせているので、そういったところでの共通認識というか、そこからみえ るものというものをフォローアップしていけるような会になればいいのではない かと思っているところである。
〇〇委員	内容が先ほど入院時情報提供書に関する調査で0%にしていった方がいいのでは ないかなど、そういったところを議題にすればいろいろな意見が出てくるのではな

	<p>いか。入退院の情報がない方、1泊入院の方たちのデータも取っていたりするかと思うため、そういった方たちの分も電話しないといけないのかなど、内容が濃くなっていくのではないかと思う。ある程度、テーマやデータを出していった方がいいのではないかと思う。</p>
会長	<p>こうやって地域連携を担当しているところとケアマネの方と話を進めていただいて、先ほど〇〇委員が言われたようなところを話していただければ、解決策などが生まれてくるのかなと思っている。是非、進めていただきたいと思う。</p>
〇〇委員	<p>懇話会の参加者は、この会議のメンバーではなくてよいか。</p>
事務局	<p>座談会として想定しているのは、私たちはお願いするにあたっては連携部門にお願いにあがり、そちらの方からどなたか参加していただければと思っている。</p>
会長	<p>参加者の方もこれから検討するということである。</p>
〇〇委員	<p>今年度、介護支援専門員と地域連携室の懇話会を進めていくということで、こちらからもそういった取組みに対し頑張っていくかと思うわけではあるが、おそらくその中で少し話が出てくるのではないかと思っているところがある。入院時の情報提供書ができたが、今度は退院情報である。退院情報についても、病院の方も退院加算、カンファレンスで点数が取れるようになってきているが、ケアマネジャーも退院退所加算を取れるということで、再入院を少なくするというところで国の命題もそういったところにきているわけで、退院時の連携ということも大事にされている。そういうところの共通シートのような取組みも本年度、考えていけたらと思っている。</p>
事務局	<p>入院があれば、当然退院ということもあるが、概ねサマリーやカンファレンス等があるかと思う。その部分は病院でも違うだろうし、病棟でも違ったりするのかな。</p>
会長	<p>そのあたりは医療機関で異なるかとは思いますが。〇〇病院などどうか。</p>
〇〇委員	<p>サマリーなどで対応している。</p>
会長	<p>〇〇病院などはどうか。</p>
〇〇委員	<p>外来担当であるため病棟のことは分かりかねるが、病棟はひとつしかないため、退院になったらカンファレンスを行い、退院に向けた話し合いを行っているようだ。</p>
会長	<p>病院や病棟によってもやり方はかわっていると思うので、退院に関しても少し検討をしていただければと思う。</p>
〇〇委員	<p>ケアマネジャーの方からすれば、退院時の入院時情報提供書と同じように、逆に今度は退院時ヒアリングシートを作っていく。そこでケアマネジャーが入院される方が在宅復帰にあたってどういう情報が知りたいか、入院時は逆に病院がケアマネジャーにどういう情報を求めるのかということではあるが、退院時には逆にケアマネジャーが入院期間にどのように関わったのか知りたい。そういったところで健康状態のことなど、情報を知りたいというところを予めシートとして病院側に提示させていただいて、そうすれば病院側はこういった情報が欲しいんだなということに分かるのかと、思ったりした。そういった仕組みを作ってみるのもひとつの考えか</p>

〇〇委員	<p>と知っている。</p> <p>シートがあると、ケアマネが知りたいと思っていることが分かっているのではないかと思うが、それを医療機関側が書くとなると非常に負担があることと、医療側からすると退院時サマリーという別のもので書式があるので、それで代用して加算をとっている。ケアマネの方がこういうことを知りたいということでシートを検討していくことはいいこととは思いますが、ケアマネ会で何か作って医療機関の方へ提案していくというものになるのか。</p>
〇〇委員	<p>書いてもらうことは、なかなか難しいのかと思っている。それは求めている。ケアマネジャーがこういう情報が欲しがっている、ということを知っていただくものということ、もちろんケアマネジャーがヒアリングとして書いてその場に持っていくため、そのようなイメージである。</p>
会長	<p>今回の改定で入退院加算になっており、変わっている。書式が今、〇〇委員から話があったが、退院の際に必ずカンファレンスしなければいけなくなってきているため、おそらく統一したというか、各病院・病棟で書式が決まってくるのではないかと思うため、そのあたりの把握を行っていただいてもいいのではないかと。どういったかたちで退院支援が各病院でされているのか、退院支援加算も1や2、3とあるため、そういったところをどの施設でとっているのか、退院に向けてのカンファレンスをどの時点で行っているのか。それから最初の方でも出たが、退院に向けてということで連絡が7.4日前、要支援者であれば3.3日前など、このあたりの平均日数にも関係してくるのではないかとと思われる。このあたりの状況把握を踏まえ、介護支援専門員連絡協議会と医療関係との懇話会を行っていただき情報収集をしていただければいいのかと思う。</p>

## 5. その他

### (1) 次回会議開催時期について

	平成 30 年度第 2 回目会議を、平成 31 年 2 月ごろに開催予定とした。
--	--